



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2014年7月3日

報道関係各位



ピンクリボン活動支援プログラム 『リボンの願い』 2014年度 支援団体決定！ 選考会により、道内で活動する3団体を選出



公益財団法人 北海道対がん協会(以下、協会)、特定非営利活動法人 北海道 NPO サポートセンター及び北海道コカ・コーラボトリング株式会社の三者は、6月25日(水)、昨年4月より始動したピンクリボン活動支援プログラム『リボンの願い』の2014年における支援団体を決定する選考会を実施いたしました。北海道全域から応募のあった4団体の中から実現可能性や事業効果、地域との連携、並びに継続性、独自性を選考基準として、厳正な審査の結果3団体を選出いたしました。



リボンの願い

「リボンの願い」とは、当社運営の「ピンクリボン自販機」による協会への寄付金の一部を、北海道の非営利市民団体が実施する「ピンクリボン活動」へ支援する事業です。この「ピンクリボン自販機」は飲料を購入するごとに自動販売機設置者の売上金の一部が協会へ寄付されるものです。2013年度には、約140万円の寄付が寄せられました。

全道の「ピンクリボン自販機」は確実に拡がっており、寄付金額は年々増加しております。本助成事業が多くの方に周知され、北海道のピンクリボン活動の輪が拡大されることを期待しております。

【2014年度「リボンの願い」支援団体】五十音順

地域	団体名	事業内容
札幌市	ピンクリボン in SAPPORO	女子大生を対象とした「ピンクリボン出前講座を市内3大学で実施。医療従事者による講義とミュージカル仕立てのミニ劇場を行い、学生本人だけでなく家族や知人に伝えることを目指す。
札幌市	パフォーマンスプロダクション COLORE	フリーペーパー「V i t a -命のリボン-」の発行を通じて、若い世代へのピンクリボン活動の周知や乳がん検診の大切さを訴える。
北見市	特定非営利活動法人 耳をすませば	「日本赤十字北海道看護大学」と協働で20~40代の母親を対象に、乳がん触知モデル体験や運動教室を通して乳がんに関する啓発活動を行う。

乳がんは今や 12 人に 1 人が罹患すると言われております。他のがんと比較して 5 年生存率、10 年生存率が高い一方、道内の乳がん検診の受診率は全国平均以下の 28% (※) と全国平均の 31.4% を下回っており、欧米の 80% を超える受診率とも大きな差があります。本助成事業は北海道の活動団体によるピンクリボン活動をサポートすることで、北海道の人びとの乳がん検診への意識をより高めること、そして北海道の乳がん検診率の向上へ寄与することを目指しております。

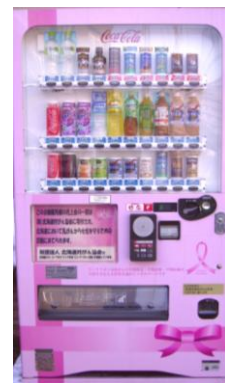
※「国立がん研究センターがん対策情報センター」国民生活基礎調査による都道府県別がん検診受診率データ(2010年、過去2年)

【ご参考】

※1. 「ピンクリボン自販機」について

「ピンクリボン自販機」による寄付金は、設置者の「設置手数料」の一部から拠出される寄付となります。また飲料を購入するごとに寄付金が集まるため、地域の皆さまも簡単に募金活動に参加することが出来ます。

「ピンクリボン自販機」は、専用の資材取り付けなどにより、設置地域において常にピンクリボンに関するメッセージを発信しております。



※2. 「リボンの願い」2013 年度 助成団体

・Chup totto(チュプトット)

ハンドマッサージ・ポイントメイクなど、女性に対し施術を行いながら乳がん検診の大切さを訴えました。

・特定非営利活動法人旭川 NPO サポートセンター

高齢者や専業主婦など職場検診の機会がない方を対象に、乳がんに関する講習会を行い、がんに対する意識啓発と早期受診の勧めを行いました。

・特定非営利活動法人北見 NPO サポートセンター

「日本赤十字北海道看護大学」と協働で 20～40 代の母親を対象にクイズや料理教室を通して乳がんに関する啓発活動を行いました。

当社は「～北の大地とともに～」をスローガンに、地域との協働事業を通じて、持続可能で安全・安心な社会の実現を目指しております。これからも、安全で安心な地域づくりを応援する取り組み、北海道の豊かな自然と水を守る取り組みなどを、道産子企業として継続的に推進してまいります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
広報・CSR推進部 担当: 藤井
TEL: 011-888-2091